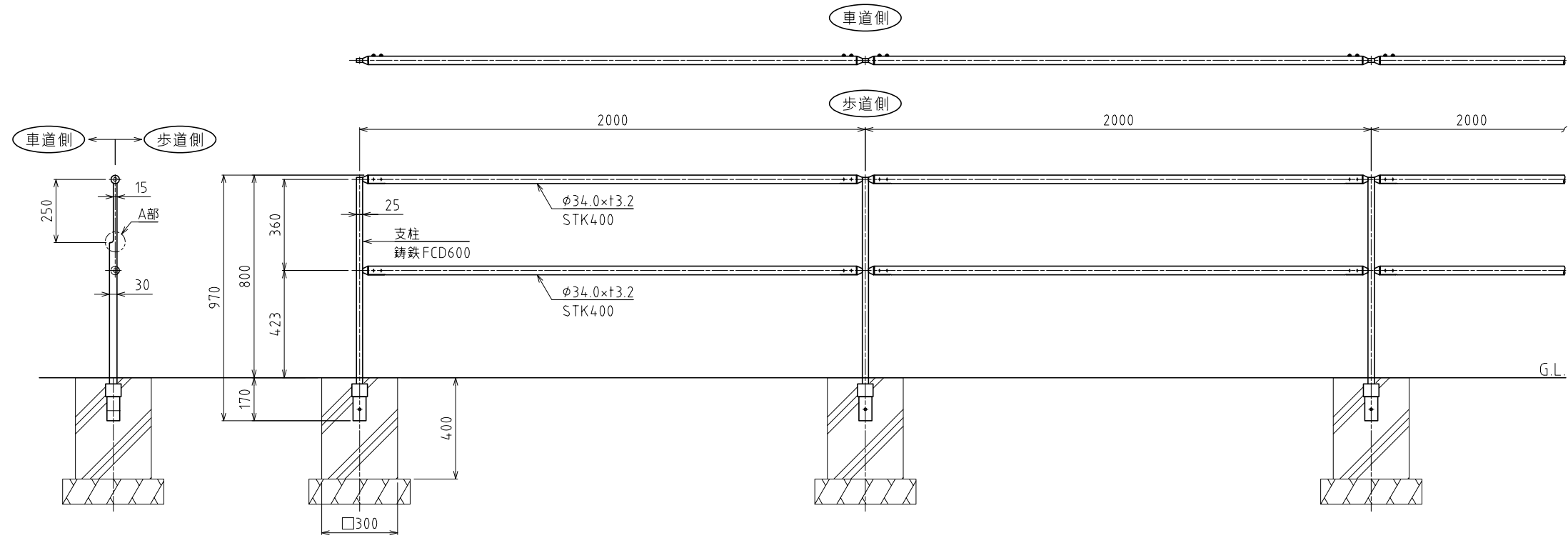
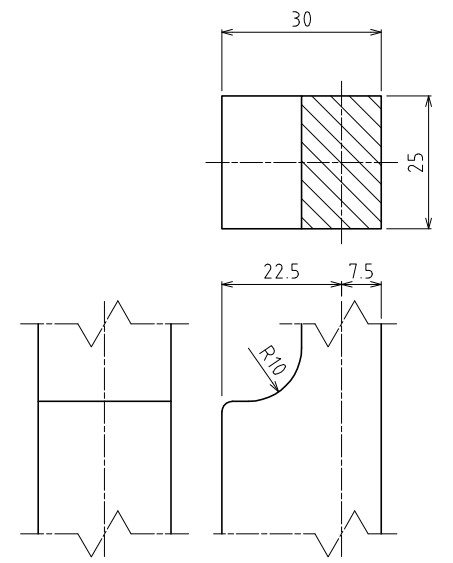
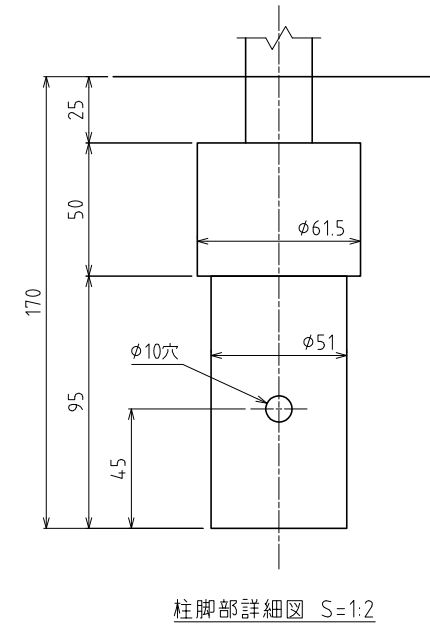
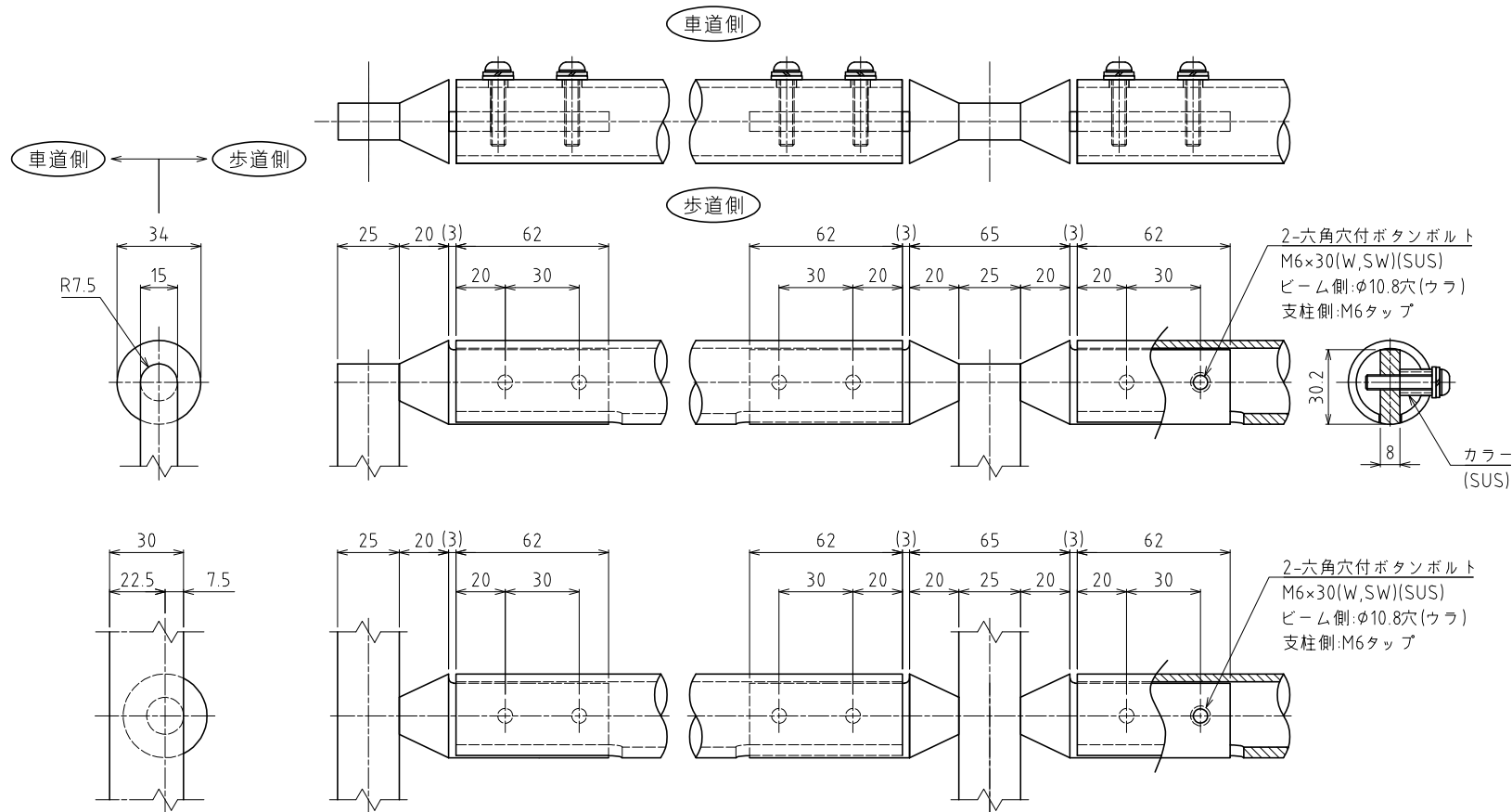
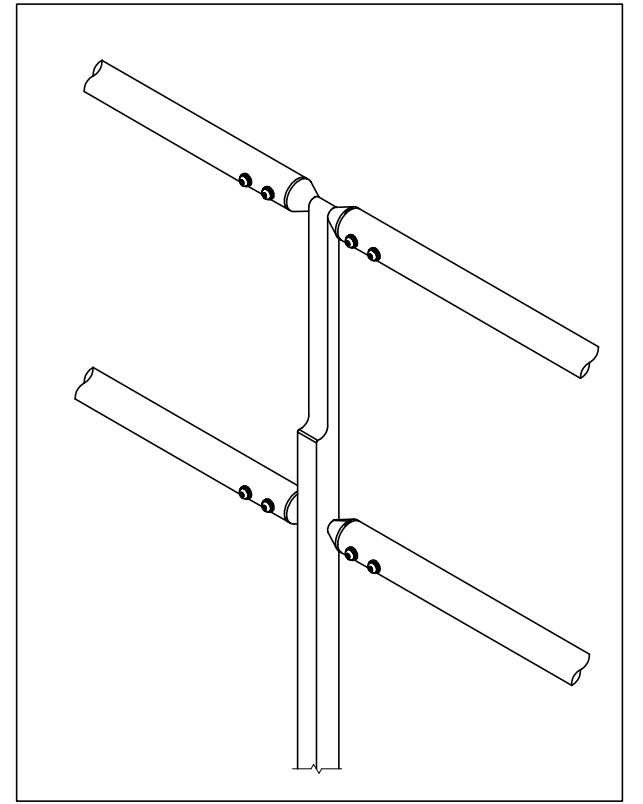


横断防止柵 YF-GB-080(基礎:コンクリート) S=1:15 (用紙A2)



外観イメージ図



A部詳細図 S=1:1

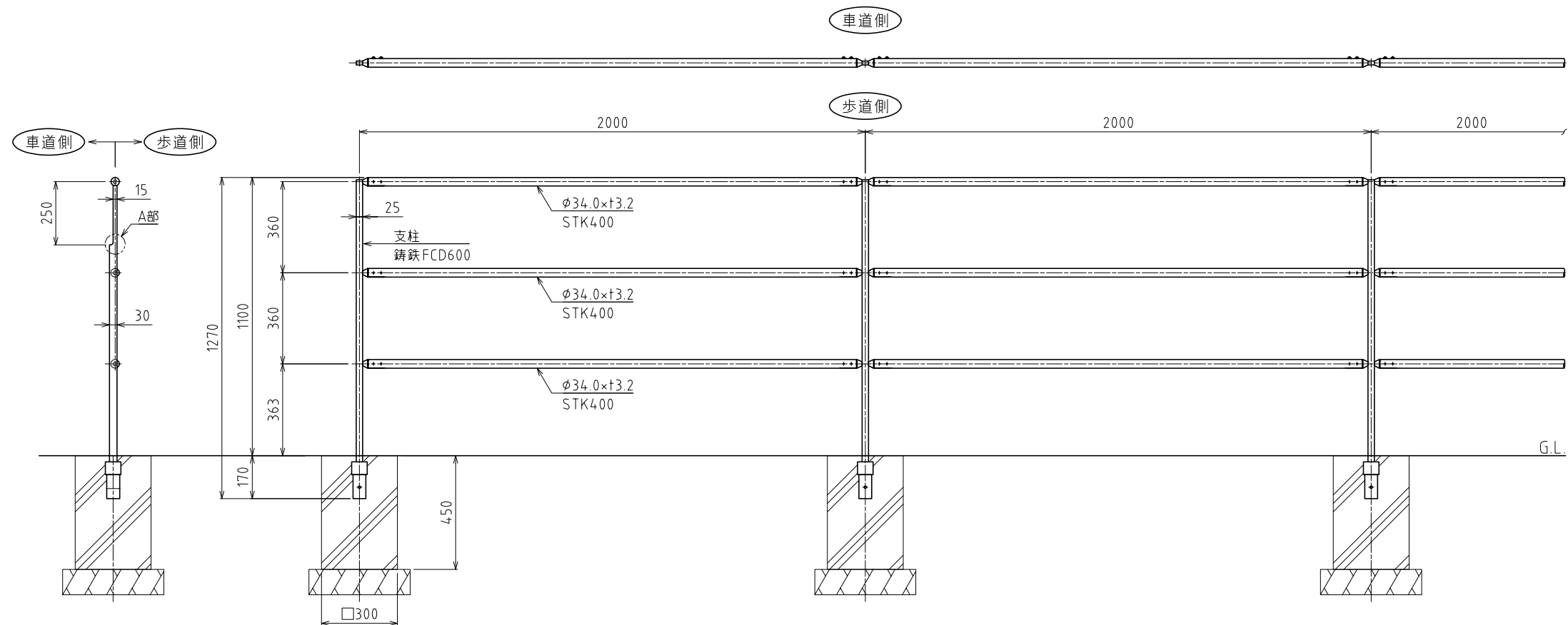
柱脚部詳細図 S=1:2

接合部詳細図 S=1:2

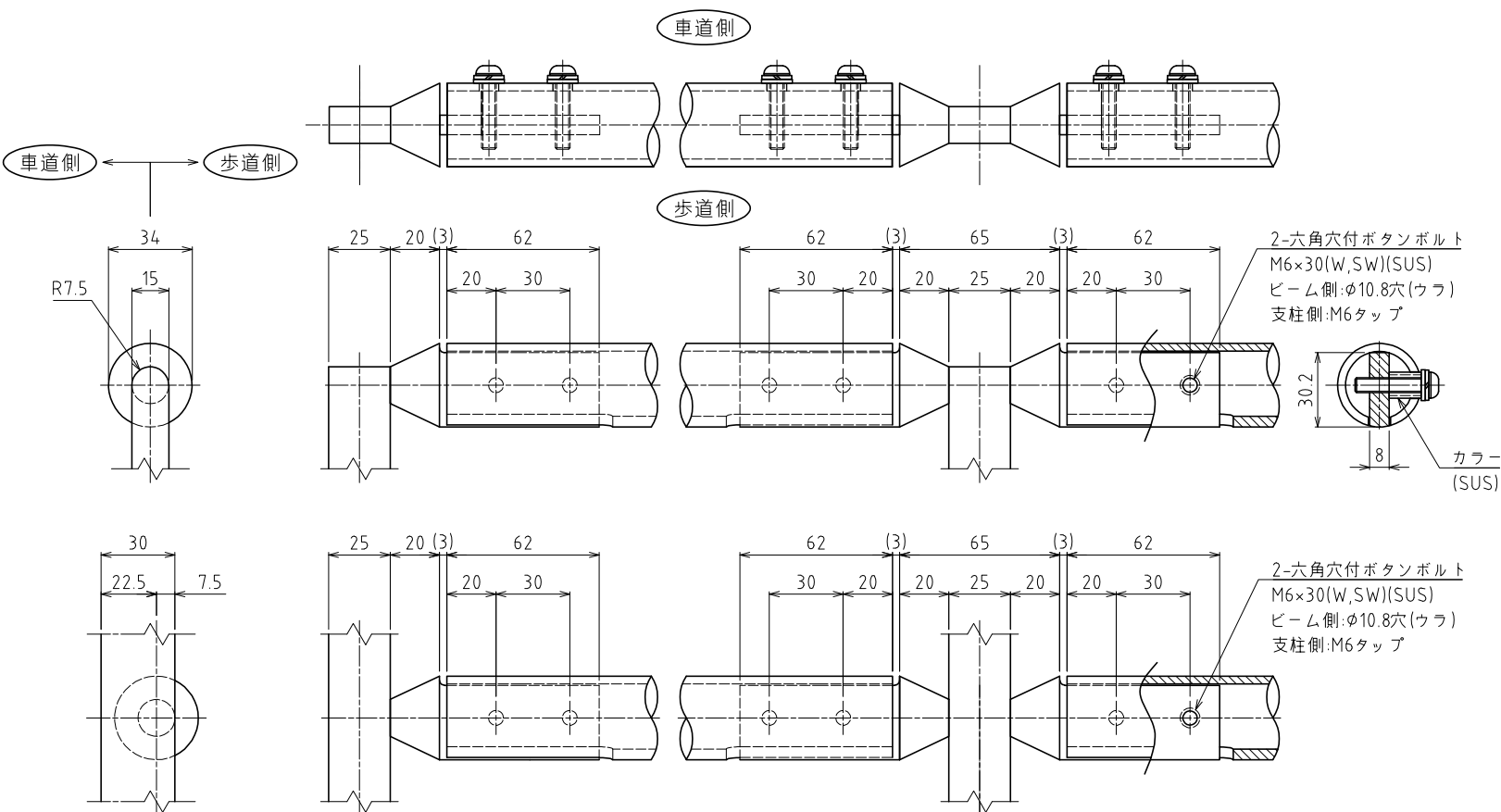
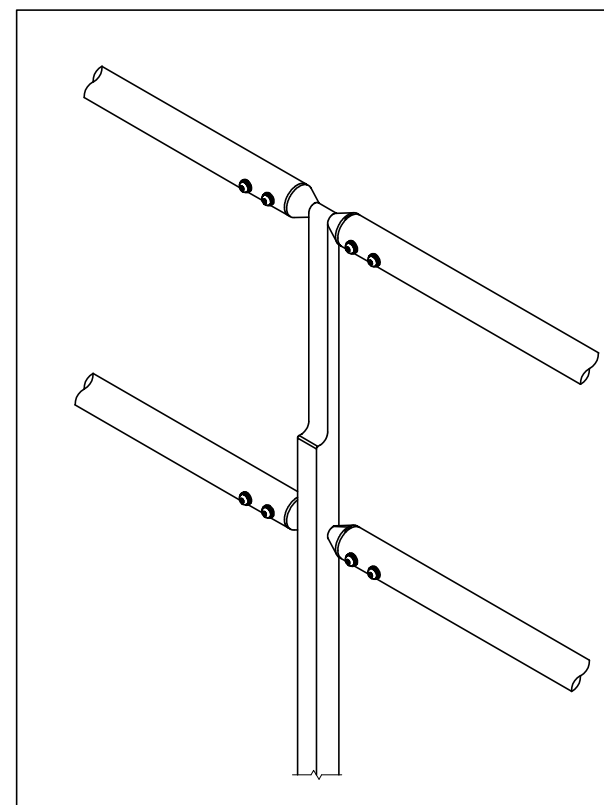
記事

- 1.表面処理
鋼製部: 溶融亜鉛めっき(HDZ177、HDZ55)後、ステンコート塗装仕上げ。
ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。
鋳鉄部: 亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。
 - 2.指定色:
 - 3.舗装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。
- *改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。

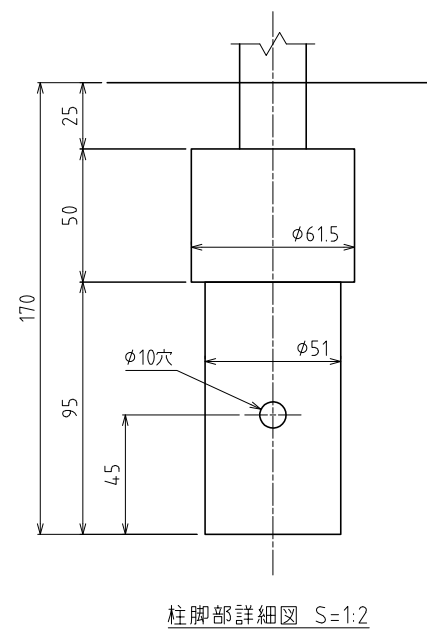
転落・横断防止柵 YF-GB-110(基礎:コンクリート) S=1:15 (用紙A2)



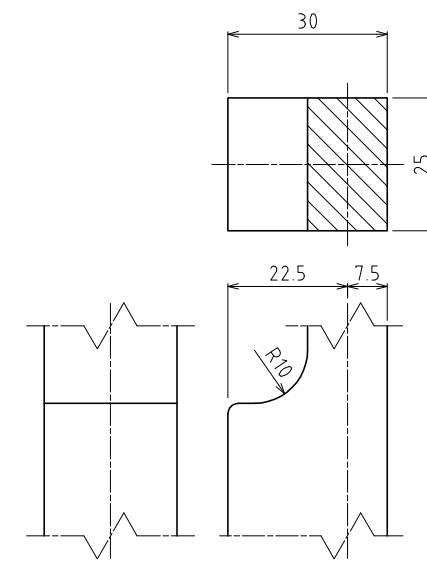
外観イメージ図



接合部詳細図 S=1:2



柱脚部詳細図 S=1:2

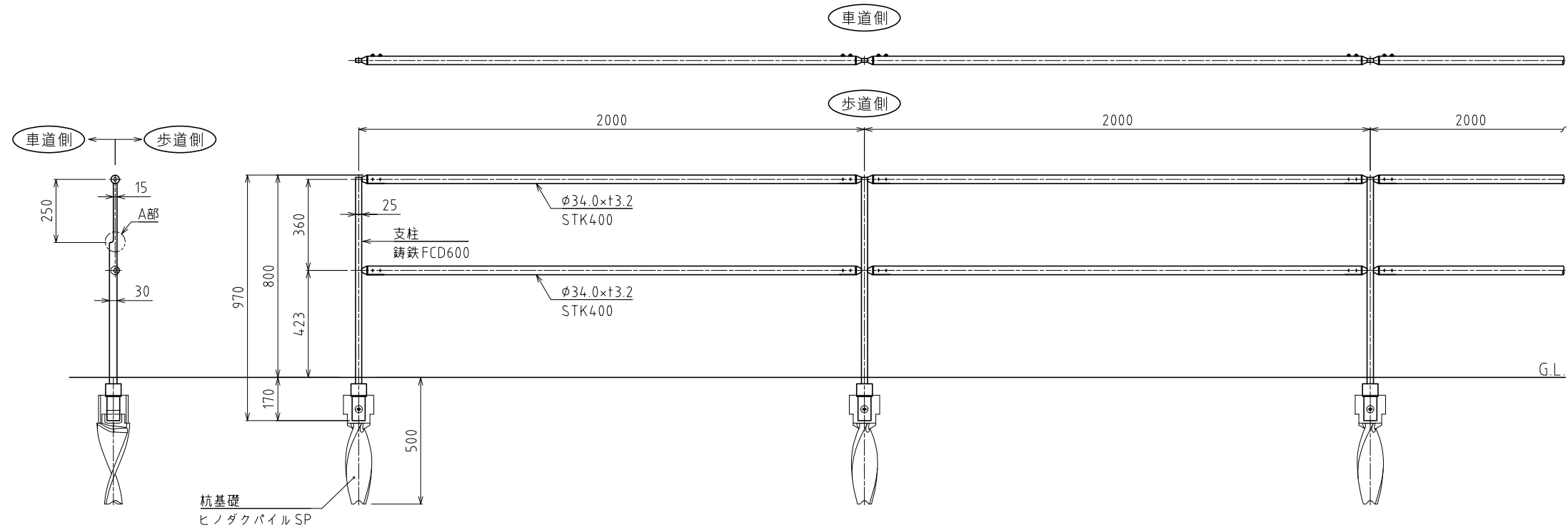


A部詳細図 S=1:1

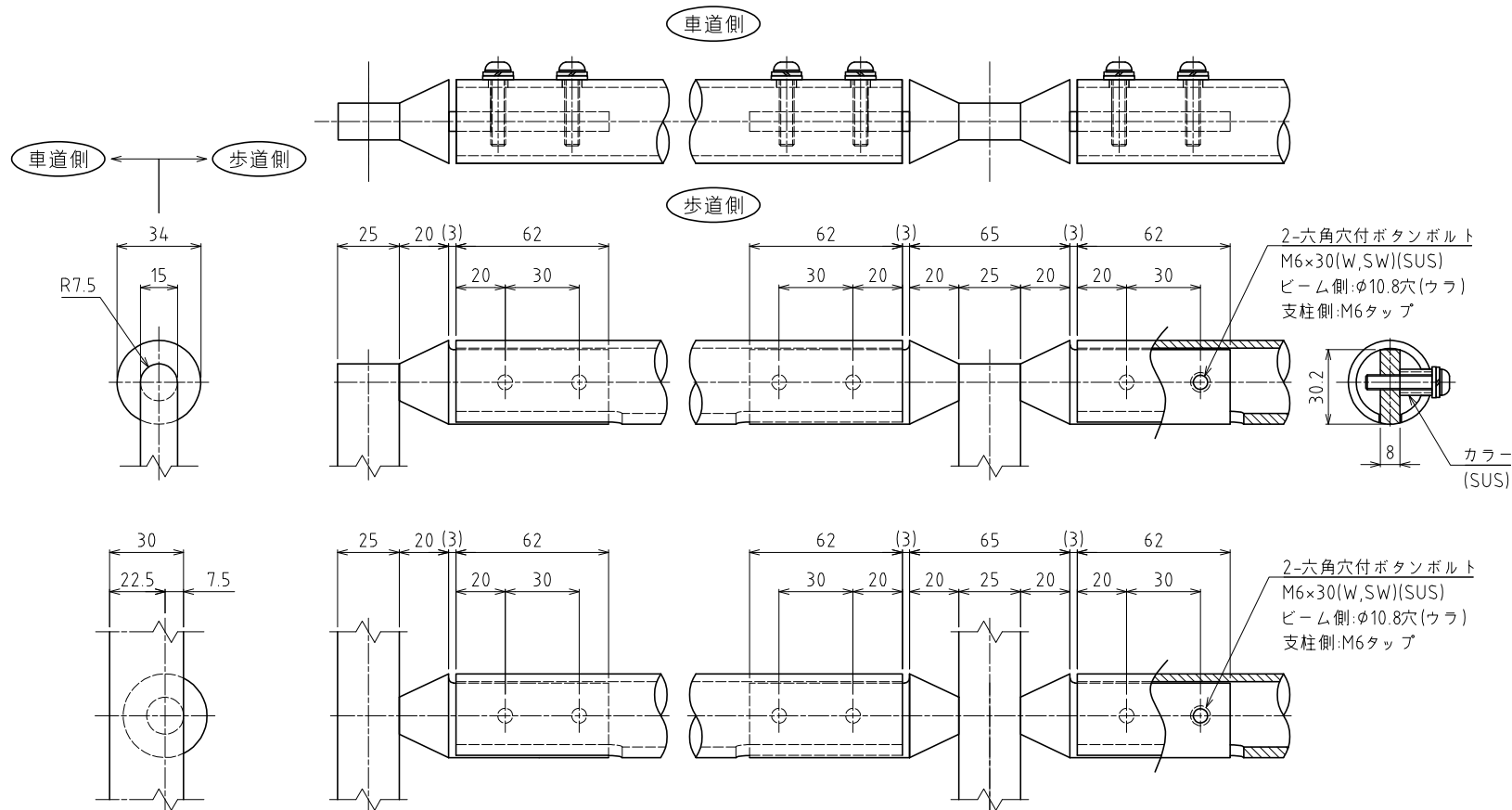
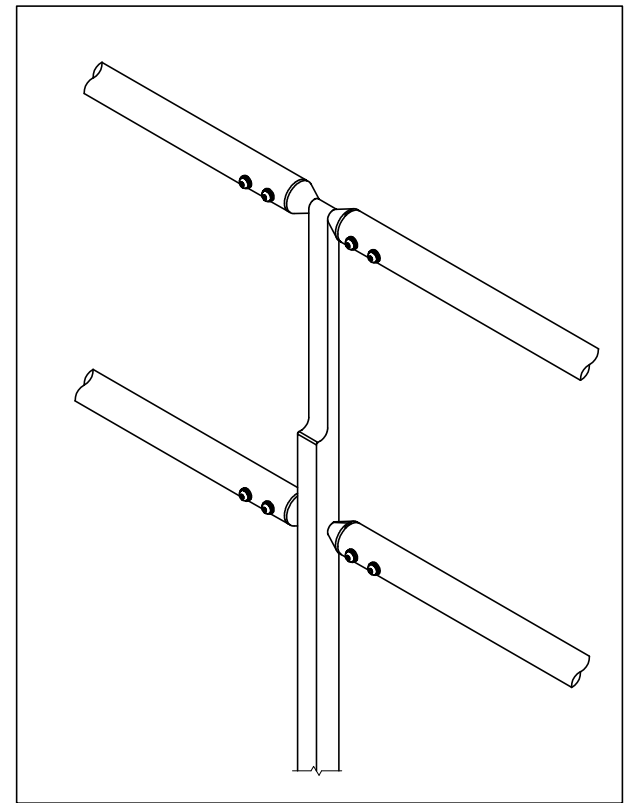
記事

- 1.表面処理
鋼製部: 溶融亜鉛めっき(HDZ177、HDZ55)後、ステンコート塗装仕上げ。
ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。
铸铁部: 亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。
 - 2.指定色:
 - 3.舗装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。
- *改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。

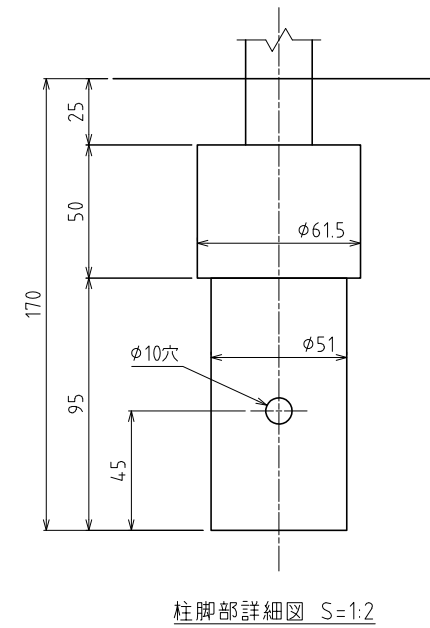
横断防止柵 YF-GB-080(基礎:ヒノダクパイルSP) S=1:15 (用紙A2)



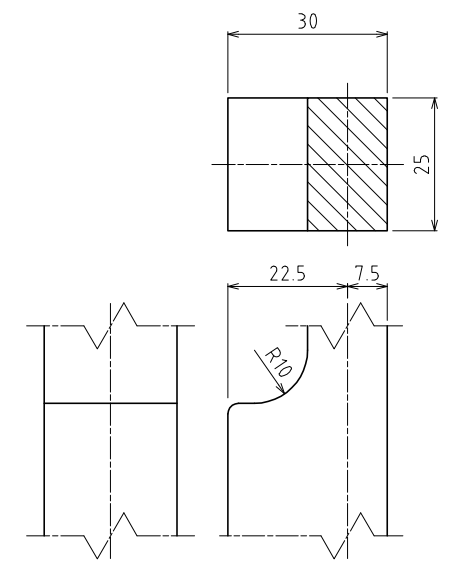
外觀イメージ図



接合部詳細図 S=1:2



柱脚部詳細図 S=1:2

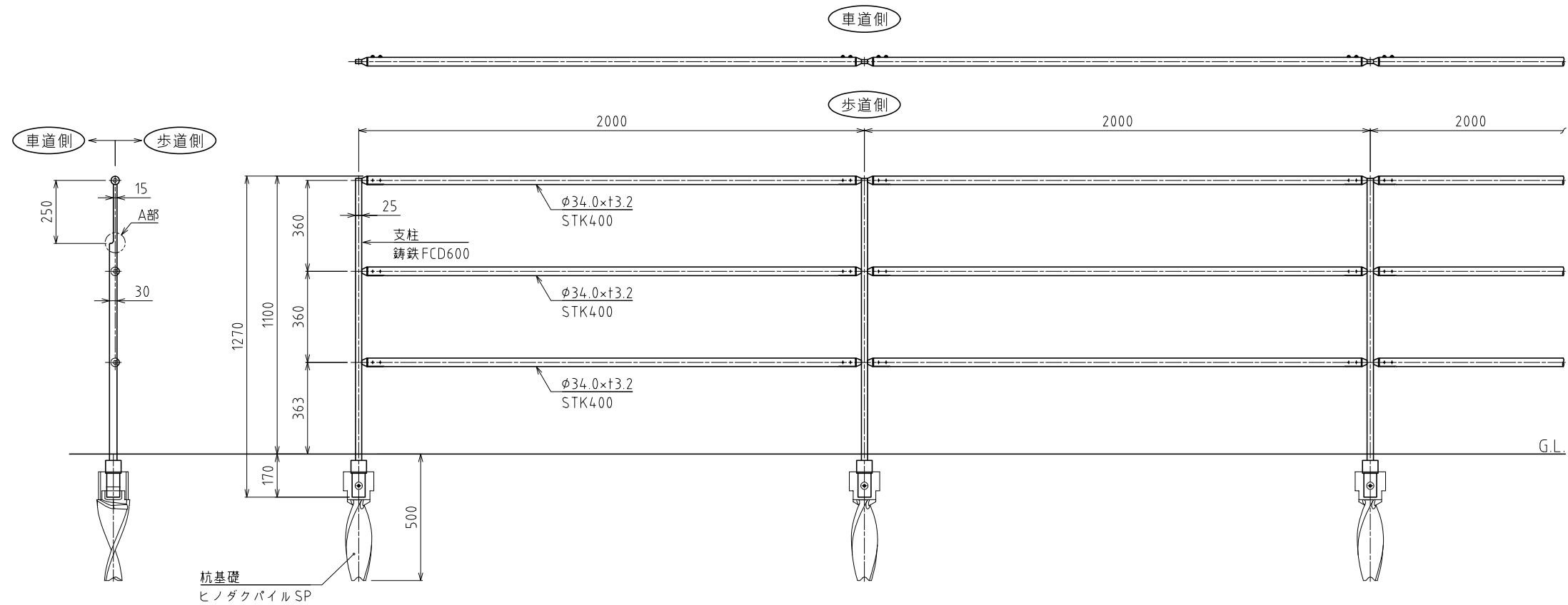


A部詳細図 S=1:1

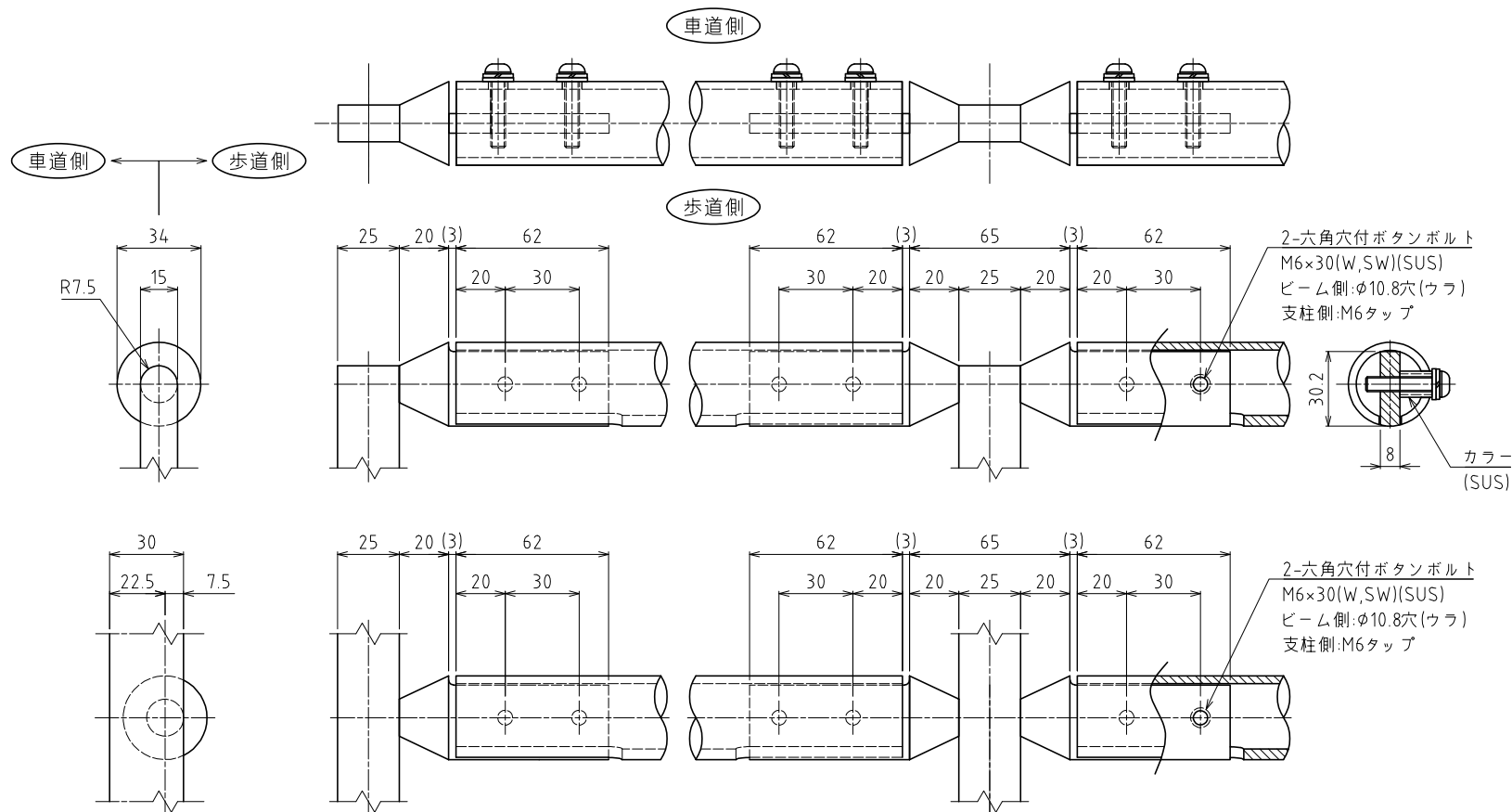
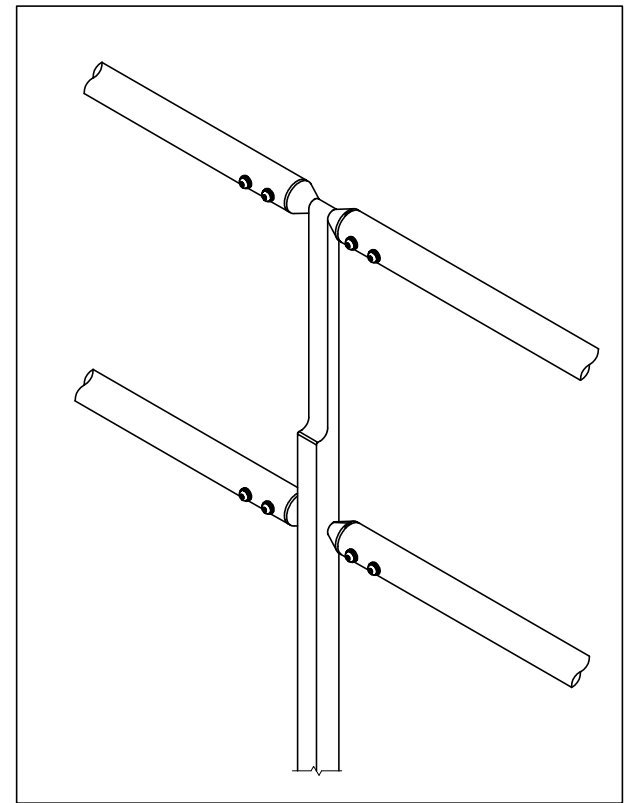
記事

- 1.表面処理
鋼製部: 溶融亜鉛めっき(HDZ177、HDZ55)後、ステンコート塗装仕上げ。
ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。
铸铁部: 亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。
 - 2.指定色:
 - 3.鋪装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。
- *改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。

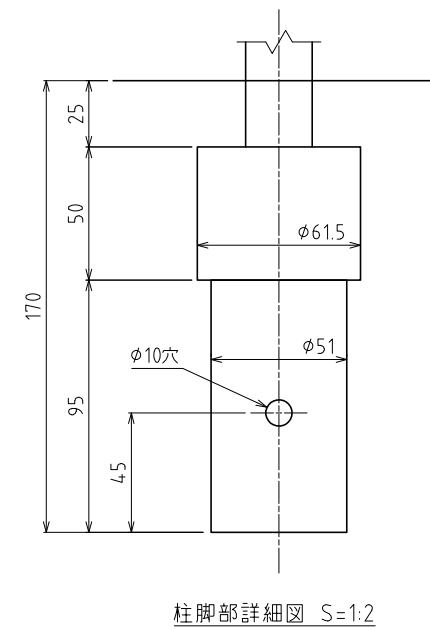
転落・横断防止柵 YF-GB-110(基礎:ヒノダクパイルSP) S=1:15 (用紙A2)



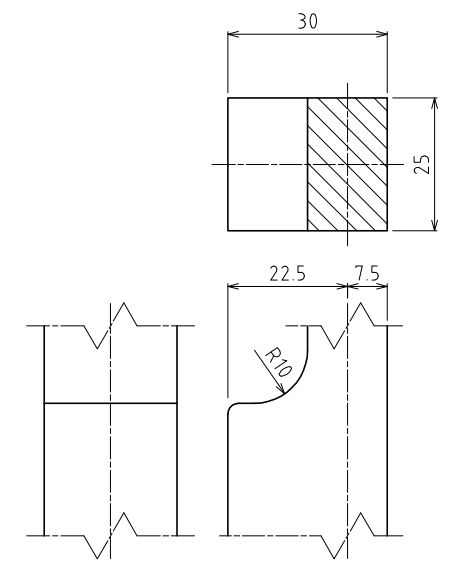
外観イメージ図



接合部詳細図 S=1:2



柱脚部詳細図 S=1:2



A部詳細図 S=1:1

記事

- 1.表面処理
鋼製部: 溶融亜鉛めっき(HDZ177、HDZ55)後、ステンコート塗装仕上げ。
ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。
鋳鉄部: 亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。
 - 2.指定色:
 - 3.舗装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。
- *改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。